



すごいやんか地域愛。
すごいやんか可能性。

前・三重県知事
自民党三重県第4選挙区支部長

えいけい
すずき英敬

すずき英敬後援会入会のご案内【討議資料】

感謝と想い

平成23年4月に知事に就任させていただいて約10年5か月。強い使命感で全身全霊職務にあたってまいりました。誰よりも三重県のことを考え、汗をかき、走り回りました。そのようにできたのも、就任当時36歳で政治経験もなく、三重県の生まれ育ちでない私を、信じ、ともに歩んでくださった県民の皆様のおかげです。改めて、県民の皆様に対して、心から感謝申し上げます。

今回の決断は、悩みに悩みました。大きな大きな心の葛藤もありました。そのような中、コロナ対策で共に戦ってきた市町長、医療関係、中小企業に働く方や市民の皆様から、「コロナ禍の今だからこそ、現場をよくわかっている鈴木英敬が国に必要」、「この地域の実情を知り尽くしている鈴木英敬に国で活躍してほしい」との多くの声をいただきました。皆様の熱いお気持ちやいただいた声を重く重く受け止め、また、県政でまいた地域の元気づくりや安全安心の種を、より大きく花開かせるため、新たなステージでの挑戦を決意しました。

今回の新たな挑戦について、様々なご意見があることも十分承知しており、大変重く受け止めております。今後、新たなステージに立たせていただければ、この地域はもちろん、県や国全体に仕事で成果を出して恩返ししていくことで、「あの時の判断は間違っていなかった」と皆様に思っていただけのような精進してまいります。

国体中止の苦渋の決断はじめ、10年間の知事職は決断の日々。尊敬する政治家の一人である故・中曽根元首相は、「政治は、愛とか優しいとか、名詞や形容詞で語るのではなく、『私はやる』と動詞で語るものだ」と言葉を残しておられます。

その言葉どおり、三重県知事として動きに動いた10年間の「情熱」と「実行力」「決断力」そのままに、

**この地と日本の未来のために
全力投球で頑張ります。**

鈴木家の
アルバム
から



「テナガエビもとれたよ!」
銚子川で川遊び



南伊勢の釣り堀で
大物をゲット



伊勢神宮にお宮参り
「毎年家族で必ず来ています」



「水がめっちゃきれいので気持ち
いい!」宮川をカヌーで下る

経歴

昭和49年8月15日生まれ。兵庫県出身(本籍地菟野町)。東京大学卒業後、通商産業省(現経済産業省)に。平成21年衆院選で三重2区から自民党公認で出馬も落選。平成23年、当時全国最年少36歳で三重県知事就任(3期)。全国知事会地方創生対策特別本部長、危機管理・防災特別委員長、ワクチン対策特別チーム副チーム長等歴任。妻はシンクロ五輪メダリストの武田美保。一男一女。イクメンオブザイヤー等も受賞。

すずき英敬後援会事務所

516-0051 三重県伊勢市上地町1190-1
(旧メガネのハシヅメ様本店)

Tel.0596-22-7331
Fax.0596-22-7332

すずき英敬HPもご覧ください





すずき英敬、地域の皆さんとともに

- 政治人生をかけて、この地の「可能性」を引き出し、「課題」を解決します
- 私たちの暮らしそのものである「地方」「現場」に立脚したものとなるよう、国の政策を転換します
- 地域の経済活力と豊かさを実現し、「ふるさとに愛着と誇りを持てる魅力づくり」に取り組みます
- 現場の最前線で戦ってきた経験をもとに、国のコロナ対策の強化や感染症対策の強じん化を図ります
- コロナ禍で明らかになった「変わらない日本」から脱却し、ポストコロナの新時代を切り開きます
- 地域医療の充実、がん対策、少子化対策など、「命をつなぐ」「未来をつなぐ」ために全力で取り組みます
- 日本人が誇りを持ち、日本を守り抜くため、「世界から尊敬され信頼される国」へ取り組みます
- 10年間育てて頂いた「実行力」「決断力」を活かし、「即戦力」としてこの地と日本に恩返しします
- 自民党が変わらなければ政治は変わらない。世代交代も機会に自民党を変える一翼を担います



すずき英敬は、この地域の皆さんに「元気」「笑顔」「明るさ」「安心」を届けます

この地は、「可能性」と「課題」がいっぱいつまっています。私自身にとって、知事在任10年の中で一番たくさん思い出が詰まった、最も思い入れの強い地です。政治人生をかけて、この地の「可能性」を思いっきりひきだし、「課題」を解決する。そのやり方をモデルとし、日本中の地方に希望と誇りを広げる。G7伊勢志摩サミット誘致、紀伊半島大水害からの復興、菓子博の成功、熊野古道訪問者過去最多、観光入込客数と観光消費額の過去最多更新、日本初のシンガポールへの生カキ輸出、柑橘のタイ輸出、近畿自動車道紀勢線の数々の新規事業化、土砂条例制定、企業誘致（10年間で約500社1.8兆円投資）、中間層の経済的豊かさ日本一実現など、知事時代の成果も踏まえ、国の制度や予算、これまで築いたネットワークをフル活用し、皆様とともに、この地の発展のために粉骨砕身働きます。強じんなインフラ整備、1次産業や観光業などの基幹産業の振興、デジタルを活用した新産業創出、若者定着、教育の充実や人づくり等にも積極的に取り組みます。また、日本の政治のご真ん中で活躍された政治家が多く輩出されてきた地。大変光栄に思い、ふさわしい活躍ができるよう、謙虚に取り組んでまいります。「日本の精神文化の中心地」でもあり、その伝統を守ります。

英敬さん。期待してるぞな!



「知事の経験」を生かして活躍して欲しいなあ〜

すずき英敬は、ピンチをチャンスに変え、日本の未来のために「動きます」

●国のコロナ対策の強化とわが国の感染症危機管理対策の抜本的強じん化

・ワクチン接種加速対策の総動員とそのための国と地方の橋渡し。ワクチン接種進捗を踏まえた社会経済活動再開に向けた「出口」戦略の早期策定。差別等を誘発しないことを前提にワクチン接種証明書の活用検討。国産ワクチン・治療薬の早期開発。新興国のワクチン接種支援。

・実情に応じ速やかに対策を行うための自治体の財源の抜本的拡充。自治体における医療・療養体制や検査体制の充実支援。医療従事者の処遇改善や医療機関の経営支援。観光や地域交通はじめ苦境に立たされた事業者への徹底かつきめ細やかな支援。

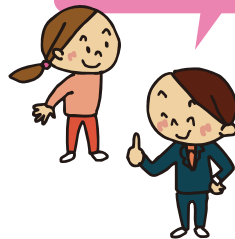
・感染症対策の強じん化のため、政府における感染症危機管理体制や、緊急事態宣言等の各種制度の見直し。今回最も苦勞した「科学的根拠」を国も地方も抜本的に強化するため、感染症の専門機関の強化、自治体と共有する仕組みづくり。保健所機能や公衆衛生行政の在り方の見直し。

●「令和の日本列島改造論」と「ポストコロナのセーフティネット」再構築

コロナ禍において、東京一極集中の弊害をはじめ、日本の構造的課題も数多く顕在化。地方において、医療、子育て・教育、防災・減災・国土強靱化、デジタルを飛躍的に充実させる「令和版日本列島改造論」を実施し、東京一極集中を是正し、誰もが住みたいと思う地域に住み続けられるように。分断や軋轢も生まれ、弱い人達にしわ寄せも。決して同じことを繰り返してはならない。現在の支援の在り方を見直し、「ポストコロナのセーフティネット」を再構築する。

※上記以外に取り組む内容については、後日お知らせします。

英敬さんの言う通り、安心は大切ななあ〜



この地域を、もっともっと元気にして欲しいなあ〜

